

普通救命講習市民受講率日本一を更新

本市では、平成24年4月から「普通救命講習市民受講率日本一」を掲げ、応急手当普及啓発活動を積極的に推進してまいりました。

初年度となる平成24年度は、本市の対人口比2.8%である4,567人が普通救命講習を受講し、「普通救命講習市民受講率日本一」を宣言しました。

2年目となる平成25年度も、市民ボランティア団体の「ならしの救命普及市民の会」および消防団ならびに学校など、関係機関の積極的な協力により、対人口比2.9%である4,793人が受講しました。2.9%という数値は、「救命力世界一」を宣言している大阪府豊中市の対人口比1.4%、また、「救命の絆世界一のまち」を目指す、京都府福知山市の2.4%をも上回っており、調査した限りでは全国で最も高いものとなっており、「普通救命講習市民受講率日本一」の記録を更新したものと考えております。

なお、受講者には講習修了証を交付しておりますが、修了証に有効期限はありません。しかし技能維持のため3年ごとに再講習を受けることを推奨しております。

過去3年間の講習受講者数は、11,312人、本市の約15人に1人が普通救命講習を受講したことになり、この数値も全国的に高いものと考えております。

平成26年度以降も継続的に年間受講者数4,000人以上を目標に、応急手当普及啓発活動を推進し、やさしさでつながるまち習志野の未来のために、「人を助けるという当たり前の、しかし大変難しいことを、ごく普通に行える社会」を実現し、市民の安全・安心・快適なまちづくりを目指してまいります。

1. 受講者数 4,793人（講習回数143回）

《内 訳》

・中学校	1,662人	（8校中8校：市立7校、私立1校）
・高等学校	1,027人	（4校中3校：市立1校、県立2校）
・大学	184人	（2校中1校）
・事業所等	815人	
・個人等	569人	
・市職員	536人	

2. 指導体制

指導員を養成するため、応急手当普及員講習を4回開催し、新たに21人の指導員を養成しました。

3. ならしの救命普及市民の会との協働（平成26年4月1日現在、会員数66人）

消防本部では、「ならしの救命普及市民の会」と協働し、普通救命講習等の普及啓発活動を実施しています。

平成25年度は、「ならしの救命普及市民の会」から指導員として延べ397人が参加し、1,690人の受講者を指導（全受講者の35%）しました。

4. 訓練用資器材の整備

新たに訓練人形12体およびAEDトレーナー12台を整備しました。

《現有資器材》

- | | | | |
|----------|-----|-----------|-----|
| ・訓練人形成人用 | 37体 | ・訓練人形小児用 | 14体 |
| ・訓練人形乳児用 | 14体 | ・AEDトレーナー | 40台 |

5. 救命入門コース

小学校高学年の児童を対象とした救命入門コース（90分）を平成25年度は、市内の全16小学校で実施しました。（受講者、1,494人）

※ 救命入門コースとは、小学校5・6年生以上を対象とし、心肺蘇生法とAEDによる救命に必要な応急手当を学ぶ90分のコースです。普通救命講習の受講者数にはカウントしませんが、小学校から大学、社会人と、生涯教育として一貫した普通救命講習を実施して行くための入口となる大変重要なものと捉えています。

6. 習志野市応急手当協力事業所等認定

平成24年度に習志野市応急手当協力事業所等認定制度を開始し、2事業所の認定を行い、平成25年度は新たに、1事業所を認定しました。

※ この制度は、事故などが発生した際、119番通報や応急手当などに協力していただける事業所を「協力事業所」として認定する制度で、普通救命講習の普及と救命効果の向上を期待しています。

7. 今後の目標

平成26年度以降も、継続的に普通救命講習年間受講者数4,000人以上を目標に計画を推進していきます。

《問い合わせ》習志野市消防本部 警防課 担当者 宮崎、横山

TEL 047（452）1283